

2013 年 3月 話題廣告賞

ctc

徳川家康は、 なぜ名古屋に城を 築かせたのか。

1603年、征夷大将軍となった徳川家康は江戸幕府を開闢。大坂の豊臣氏の勢力を抑制したい家康は、東海道の要衝である尾張国に新しい城と城下町を築くことを命じられた。徳田恒成が居城とした設楽村から都市を先こうしていく巨大事業で、これを「前田屋敷」と呼んでいた。

清洲の地は赤地に覆われたが、反逆水攻めを防ぐ、防衛の拠点としては不向きであった。そこで、家康が名古屋城を築いた際に掘んだ土は高台になり、そこに高層の御殿、櫓門となつた天守閣が、大々的な要塞をつくりだしてあげた。ここに、徳川家の居城は、地方に対する名古屋城の万全の布陣があつてこそ完成できるといふ。

母は連れ384人、衣食住基本ほぼ自給自足に、夜警士のデューティーセンターが生じます。コーションは官舎会館も豪華な名古屋市の中心部、丸の内。万金のオールドビルと最新のフアンテージ、お客様の大切な情報財産を守ります。尾川家も認めたこの地で、24時間365日、企業の情報資産を保護に貢献することを約束いたします。

2014年2月、ctcデータセンター名古屋丸の内誕生

「24時間 365日」あらゆるリスクから守ります ctcデータセンター名古屋丸の内は高層かつ高品質サービスを提供することで、お客様の安心の拠点を築きました。万全のセキュリティと厳格なフアンテージが、企業のBCP（事業継続計画）能力にハブとなり、あらゆるリスクから大切な情報資産を守ります。

抜群のロケーション 名古屋市中心部にあり、交通アクセス良好！徒歩圏内にも多くの緑地帯あり	最高水準の耐災害性 設計・建設・運用プロセスの徹底管理。統一運用体制によるリスクも低減が期待される施設	高品質・大容量ネットワーク 自営光ファイバーで様々なネットワークへつながるご装置。マルチキャリアにも対応	高信頼ファシリティ 3階建てガラスタワーで高さ+α1棟目の専有・年間設備稼働率99.99%（FUEI1.2以下を予定）	大容量電力への対応 タワー構造によりエレベーター大型客用エレベーター・空調機・照明・電気設備と15%の余裕容量	厳重なセキュリティ 生体認証・監視カメラ・共通入場システム・インターロープ・24時間365日有人監視
--	---	--	---	---	--

法人向けネットワークサービス顧客満足度 7年連続No.1 ©EBC日本電気システム株式会社

光だから、できること。 **ctc**

お問合せ先 052-470-8001 <http://business.ctc.jp> ctc中部テレコミュニケーションズ株式会社 中部テレコミュニケーション株式会

2013年3月25日付 15段

中部テレコミュニケーション株式会社 [広告会社 アサツー ディ・ケイ / 制作 ラディカル]